



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

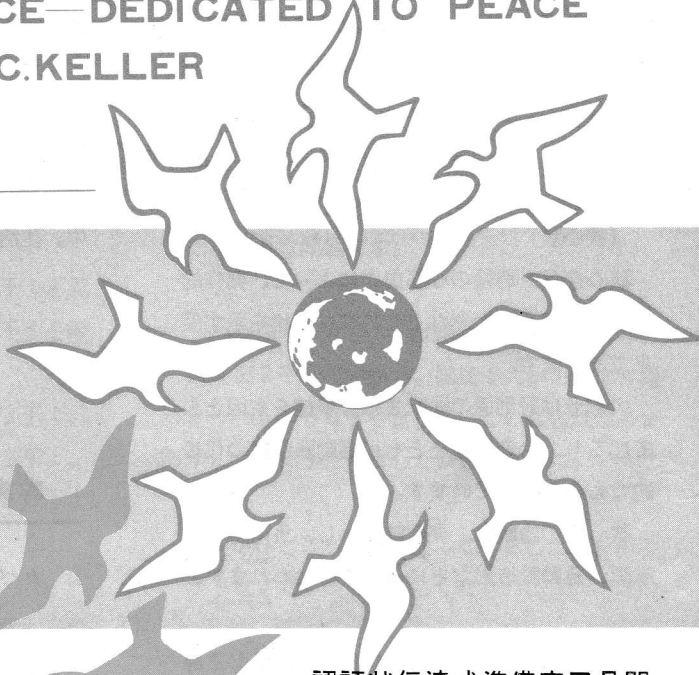
ROTARIANS

UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE

CHARLES C.KELLER

ロータリアン

奉仕に結束
平和に献身



認証状伝達式準備完了月間



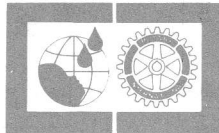
1988. 5. 27. (金) 第30回例会

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング(手に手つないで)
3. 食 事
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 各委員長報告
7. 点 鐘

● 次回卓語予定者

PolioPlus



佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-03 佐土原町大字下田島9883番地1

会 長	山 脇	忍
副 会 長	江 藤	康 雄
幹 事	岩 切	正 司
会 計	佐 野	保 雄
会報委員長	垂 水	敏 雄

第29回例会記録(昭63・5・20)

会長挨拶 山脇 忍

皆さん こんにちは。 本日は第29回例会でございます。

最近熟年の男性が心臓病で急死する例が多いようでありますが、その心臓病の代表的な疾患の一つであります狭心症についてお話しいたします。

〔狭心症〕

狭心症は一過性の心筋虚血によって、発作的に胸痛、胸部絞扼感などの特有な症状を示す疾患であります。

大部分は冠動脈の狭窄または攣縮を主因として起こり、心筋梗塞とともに冠動脈疾患の代表的なものとなっています。

狭心症の診断は、発作時ないし、負荷時の心電図、冠動脈造影などによって行なわれます。

一般的な治療としては、発作の誘因となる身体的または精神的ストレス、たとえば、急ぎ足の歩行、階段の上り、過労、興奮、不安、焦燥、寒冷、飲酒、過食、喫煙などを避けることが不可欠であり、入浴、排便などで発作をみる場合や止むを得ない場合は、予めその直前に即効性の亜硝酸剤を舌下使用させるとよい。

(粘膜下では5分間で薬剤が吸収される)

ただし、発作を起こさない範囲内の運動は、むしろ積極的にすすめることが大事であります。

また、狭心症の患者は、冠動脈硬化を促進する危険因子 — 高脂質血症、高血圧、糖尿病、喫煙、肥満、痛風、運動不足 — を持つことが多いので、その検査を行い、もしそれらを認められた場合は、その除去、治療に努めることが大切であります。

喫煙や肥満は、直接発作の誘因にもなります。

発作の予防のためには、一般的治療に加え、薬物療法を行うことが必要で、さらに外科的治療を要する場合もあります。

何れにしても、狭心症については先ず正しく診断し、その原因となっているものを除去し、適当な薬物療法を受けることでありますが、就中、生活の管理が最も大事であります。



幹事報告

齊藤数馬

1. ガバナー月信 第11号をお配りしました。
2. 都城RCから例会の変更通知が次のように入っています。
5月27日の定例会の開始時刻を、午後6時に変更します。
3. 第264地区の和歌山県城南RCから認証状伝達式を6月16日に挙行する旨の案内状が届いております。

会員卓話

幹事 齊藤数馬

私の本業は飼料販売業ですが、特にこれについては申し述べるようなこともありませんので、副業の養鰻業について少しお話ししたいと思います。

うなぎの種類は120種ぐらいあるといわれ

ておりますが、日本で一番多いのは、アンギラジャポニカと呼ばれているものです。

わが国のうなぎの総生産量は4万tですが、ベスト5県は次のとおりになっています。

- ① 愛知県 1万1千t
- ② 静岡県 9千t
- ③ 鹿児島県 7千t
温泉熱利用のため加温経費が安くなり、急速に生産量が増加してきた。
- ④ 高知県 5千t
- ⑤ 宮崎県 4千t

一方、国内の年間需要量は約8万5千tと見込まれていますので、不足分の4万5千tを輸入しているわけです。

内訳は、台湾から4万t（活魚1万2千t、加工・冷凍魚2万8千t）、中国から2千t、韓国からしらすうなぎ3千t（成魚のとき3万t）を輸入しています。

うなぎの産卵地は、フィリピン沖と考えられています。卵からふ化すると、レプトセファルスという、柳の葉状の透明な幼魚になります。

幼魚は黒潮に乗って日本に運ばれ、河口近くでしらすうなぎに変態して川を上ります。

この間約1年かかります。

しらすうなぎが鹿児島県に到着するのは11月中旬、宮崎県には11月下旬になります。

20年ほど前から愛知県、静岡県のしらすうなぎは急激に減少し、本県でも最近では少なくなってきました。

暴力団の資金源の目標とされたことも原因で、現在1kg（約5,000尾）が25万円～30万円、最高は48万円で取引されています。

しらすうなぎの主な輸入先は中国ですが、最近の円高の影響で、殆ど台湾に取られています。

養殖池に移したしらすうなぎは、最初の1週

間はイトミミズを与え、その後は人工配合飼料に切換えます。ビニールハウスで加温した池で養殖しますが、5ヶ月で出荷できるまでに成長します。

天然うなぎが成魚になるまでには8年もかかりますから、超急成長といえます。

しかし、このような養殖肥満うなぎは、どうしても病気への抵抗力が弱くなります。

内臓疾患が多く、ストレスから生ずる症状もかなり見られます。

これらの病気対策がまだ確立されていないことが大きな問題です。

わが国のうなぎの年間消費量8万5千tは、約4億2千尾ですから、国民1人が1年に4尾ぐらいしかうなぎを食べていないこととなります。まだまだ伸ばしたいものですね。

つかみどころのない話になりましたが、相手がうなぎですのでお許しください。

（最後にオチのつくところなど、さすがに名幹事だけあってウマイものです。もっとも、これもうなぎの話だったからでしょうか？）



続 佐土原町の伝統民芸品と芸能

○うずら車

久峰観音の縁起物である。

昔百済から渡来した百歳のおきなが、長生きのおまじないに作ったと伝えられている。タラの木の皮をはいで作る。

南方的な明るい配色と絞様が特徴である。

○神代独楽

ブンごまともいう。

竹の節と節の間を輪切りにし、両端面にうすい円板をはみ込み、中央に竹の心棒を通して、胴の部分にウナリ窓をあける。こまを回すと独特のウナリ音を発する。

○臼太鼓踊り

佐土原町平小牧地区に、約150年前、西都市石野田地区から伝えられた踊りで、戦国時代の城攻めに、この踊りとともに突入したといわれる。

今では、旧暦8月15日に、五穀豊饒と災難除けを祈願して奉納する。

○巨田神楽

今から約400年前の慶長年間から巨田神社（佐土原町巨田地区）に奉納されてきた神楽です。

「祓の舞」から「神送りの舞」まで33番あり、陰暦の9月15日の秋の例大祭に奉納されていましたが、現在は11月15日の例祭日に10番ほど舞い納めています。

○だんじり喧嘩

だんじり（太鼓台）は明治20年頃に大阪

方面から佐土原商人によって移入されたものであろうといわれている。

商店街地域を、赤（新五上・下八蚊）と青（本町・万十・中十）に分け、愛宕神社の夏祭りの2日目に2台（1台の重量約2t）のだんじりが激しくぶつかり合い、押し合う勇壮な喧嘩である。

老いも若きも手に汗にぎり、血が湧くひとときである。

○佐土原盆踊り

佐土原町の各地区で旧盆の供養に踊られる盆踊りは、それぞれ特色があるが、佐土原地区の盆踊り保存会が昔ながらの踊り方を継承している「いろは口説き」が名高い。

認証状伝達式登録状況

昭63・5・25現在

県内RC	274名（除招待者）
鹿児島県RC	21名+夫人3名
その他の県RC	0名

合計 295名

ビジター（敬称略）

出席報告

第29回例会 5月20日（金）

宮崎北 園山謙二 特別代表

会員数	20名
ホーム欠席者数	6名
ホーム出席者数	14名
ホーム出席率	70.00%
メイクアップ者数	1名
修正出席者数	15名
修正出席率	75.00%
欠席者名	池田・上田・郡司・立山・宮元
メイクアップ状況	延岡 金丸

前回出席報告修正

メイクアップ者1名追加 小林 佐野
再修正出席率 80.00%